

地震と津波

災害から身を守るために

目次

はじめに	1
避難情報	2
地震の揺れと避難	3
深刻な被害をもたらす津波	4
避難所・一時避難場所一覧	5～6
～ 南海トラフ巨大地震による津波ハザードマップ ～	
三尾地区	7～8
本の脇・和田西地区	9～10
和田西中・東中・東地区	11～12
入山地区	13～14
吉原・新浜地区	15～16
浜ノ瀬・田井畑地区	17～18
上田井地区	19～20
御坊市街地	21～22
～ 東海・東南海・南海3連動地震による津波ハザードマップ ～	
三尾地区、和田地区、松原地区	23～24
避難所	25
町全体図(南海トラフ及び3連動地震の津波浸水深・第1波到達時間)	26
日ごろからの備え	27

和歌山県 美浜町

URL <http://www.town.mihama.wakayama.jp/>

はじめに

●このマップについて

津波災害から身を守るためには正しい災害の知識と心構えを身に付けておくことが大切です。このマップは津波時の浸水想定範囲、第一波到達予想時間、^{※1}一時避難場所、^{※2}避難所などをまとめたものです。自宅・学校などからの最寄りの一時避難場所はどこか、どのようなルートで避難するのかなどを確認の上、**分かりやすいところに保管または掲示してください。**

- ※1 一時避難場所……津波から逃げるために避難する場所
- ※2 避難所……津波が終息した後、被災者が生活する施設

●南海トラフ巨大地震及び東海・東南海・南海3連動地震による想定

南海トラフ巨大地震
地震の規模（マグニチュード）9.1

内閣府が平成24年8月に公表した浸水想定を基に、県がより詳細な地形データ等を用いて想定したもの。
実際に発生したことを示す記録は見つかっておらず、発生頻度は極めて低いが、仮に発生すれば、極めて甚大な被害が想定される。

地震の震源
駿河湾（静岡県）～日向灘（宮崎県）

潮位条件
朔望平均満潮位（T.P. + 1.00m）

※マグニチュード（以下「M」と表記）は1大きくなると地震のエネルギーは約32倍、2大きくなると約1,000倍となります。
※朔望平均満潮位とは、朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値を言います。

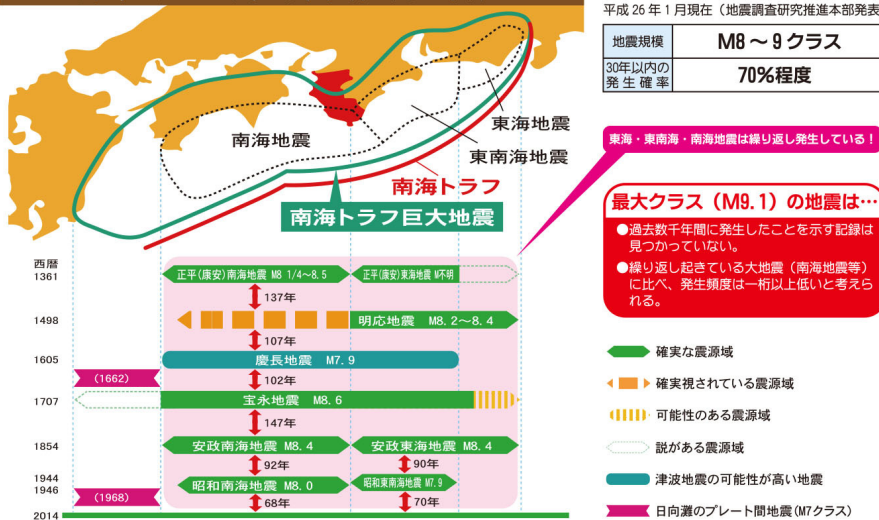
東海・東南海・南海3連動地震
地震の規模（マグニチュード）8.7

内閣府が平成15年に宝永地震、安政地震など実際に発生した地震を基に想定したもの。
約100年周期で発生しており頻度が高く、従来から県が防災・減災対策の「想定津波」としてきたものであり、今回、より詳細な地形データ等を用いて想定した。

地震の震源
駿河湾（静岡県）～四国沖

潮位条件
朔望平均満潮位（T.P. + 1.00m）

南海トラフ地震の震源域と発生状況



※出典：和歌山県 HP「かけがえのない命をまもるために」

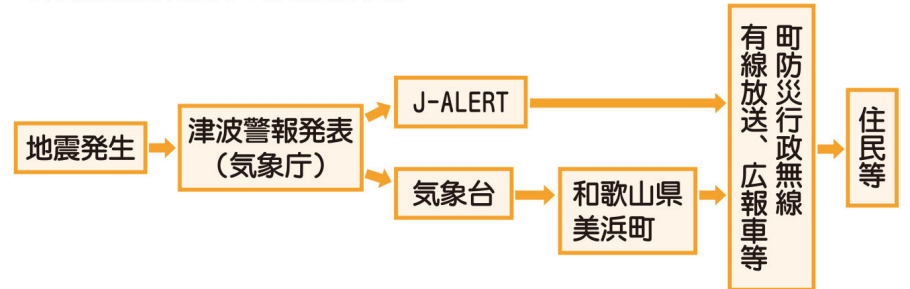
避難情報

●大津波警報・津波警報・津波注意報の分類及び取るべき行動

種類	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表基準 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<予想高)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<予想高≤10m)		
	5m (3m<予想高≤5m)		
津波警報	3m (1m<予想高≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤予想高≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

- ・震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来間に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
 - ・津波は沿岸の地形などにより局地的に想定より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- ※参考：気象庁 HP「津波警報がわかりました」(平成25年3月)より

●津波警報等発表時の情報伝達手段



※J-ALERT（全国瞬時警報システム）は、気象庁から送信される気象関係情報等を、人工衛星を利用して地方公共団体に送信し、市町村の防災行政無線を自動起動するシステムです。

■地震の揺れと避難

●震度と被害

<p>震度 1</p> <p>屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。</p>	<p>震度 2</p> <p>屋内にいる人の多くが、揺れを感じ、眠っている人の一部が、目を覚ます。</p>	<p>震度 3</p> <p>屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じ、恐怖感を覚える人もいる。</p>	<p>震度 4</p> <p>かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を固うとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。</p>	<p>震度 5弱</p> <p>多くの人が、身の安全を固うとするが、一部の人は、行動に支障を感じる。窓ガラスが割れて落ちたり、ブロックの塀の崩壊、自動販売機が倒れたりすることもある。</p>
<p>震度 5強</p> <p>非常に恐怖を感じ、多くの人が、行動に支障を感じる。多くの墓石が倒れ、自動車の運転が困難、重い家具が倒れることもあり、変形によりドアが開かなくなる。</p>	<p>震度 6弱</p> <p>立っていることが困難になる。家具の多くが転倒し、開かなくなるドアが多い。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下し、耐震性の低い住宅では倒壊するものがある。</p>	<p>震度 6強</p> <p>立っていることができず、はわないと動くことができない。多くの建物で、壁やタイルや窓ガラスが破損、落下し、戸が外れて飛ぶこともある。耐震性の低い住宅はほとんど倒壊する。</p>	<p>震度 7</p> <p>揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。ほとんどの家具が大きく転倒し、飛ぶものもある。耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊したりするものがある。</p>	

●地震時の行動をイメージしよう

緊急地震速報

緊急地震速報は、震度5弱以上を想定したときに、テレビ・ラジオなどで報知音とともに放送されます。

発生！

↓
↓
↓
3分
↓
↓
3時間
↓
↓
1週間

○落ち着いて、自分の身の安全を確保する。

机の下などへもぐる。揺れがおさまったら…

○火の始末をする。電気のブレーカーを切る。

自分の身の安全を確保し、地震の揺れに注意し、火を使っているときは火の元を止め、通電火災の原因となるブレーカーを落とすなど火災から身を守りましょう。



○ドア、窓を開けて脱出口を確保する。

【津波・がけ崩れ危険地域はすぐ避難】

○家族の安全を確認。

○隣近所で声を掛け合う。

特に一人暮らしの高齢者などの安否を確認。



○出火防止

→火が出たら初期消火。

大声で知らせ、協力して消火器・バケツリレーなどで消火する。

○外へ逃げる時はあわてずに。(①参照)

瓦やガラス・看板などの落下物に注意！

・ラジオなどで正しい情報を確認。
・避難は原則徒歩で行う。



○避難後は協力して消火・救出・救護活動を行う。

助け合いの心を持って。壊れた家には入らない。

○生活必需品は備蓄でまかなう。(②参照)

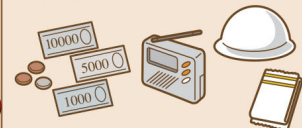
日頃から1週間程度の飲料水と食料の備蓄をしておく。(普段から消費している食料の蓄えを増やし、「ところてん方式」で備蓄しましょう)

○避難生活では、集団生活のルールを守る。

助け合いの心で！

① 非常持出品

まず最初に持ち出すべきもの。リュックサックなどにひとまとめにし、すぐに持ち出せるようにしておく。



- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> □現金 □非常食 □飲料水 □携帯ラジオ □懐中電灯 □ヘルメット □救急医薬品 | <ul style="list-style-type: none"> □衣類、タオル、ティッシュペーパー、軍手、雨具、ライター、ビニール袋、缶切り、栓抜き □生理用品など |
|--|---|

② 非常備蓄品

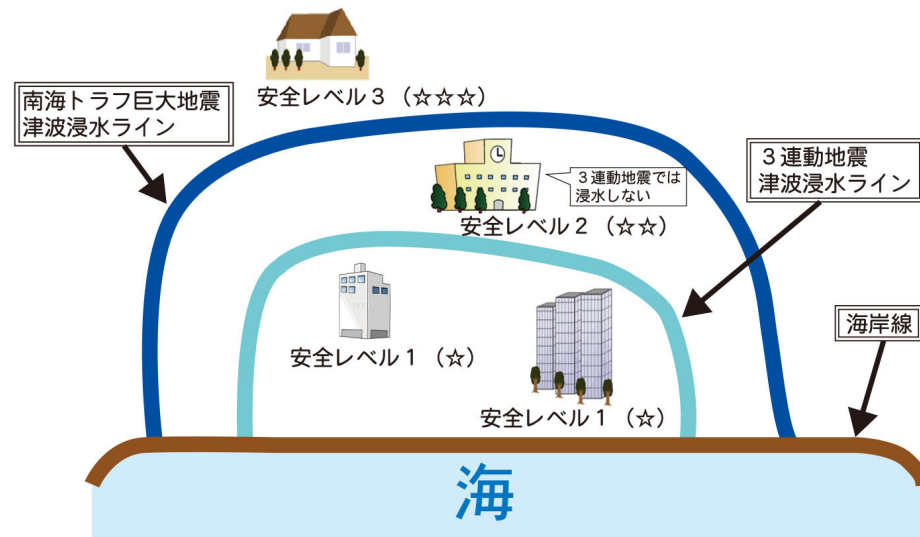
災害復旧まで、およそ1週間を自足するためのもの。非常時でも取り出しやすい場所に保管しておく。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □食料 □飲料水 □卓上コンロ □毛布、寝袋 □洗面用具、トイレ用紙、ポリ容器、バケツ | <ul style="list-style-type: none"> □キッチン用ラップ、ビニールシート、新聞紙、ろうそく、ロープ、布製のガムテープ、ボール、スコップなど |
|---|--|

※参考：和歌山県 HP 「かけがえない命をまもるために」

■深刻な被害をもたらす津波

●「2つの津波浸水域」と「避難先安全レベルの考え方」

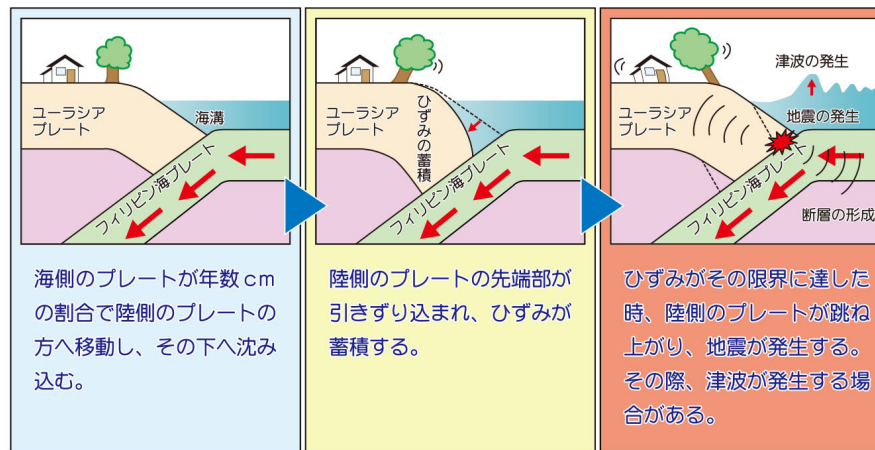


避難先安全レベル3 (☆☆☆) … 南海トラフ巨大地震想定並びに3連動地震想定において浸水が予想されない一時避難場所。

避難先安全レベル2 (☆☆) …… 南海トラフ巨大地震想定においては浸水すると予想される区域内にあるが、3連動地震想定においては浸水が予想されない一時避難場所。

避難先安全レベル1 (☆) …… 南海トラフ巨大地震想定並びに3連動地震想定において浸水が予想される区域内にある一時避難場所。

●海溝型地震の発生メカニズム



海側のプレートが年数 cm の割合で陸側のプレートの方へ移動し、その下へ沈み込む。

陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。

ひずみはその限界に達した時、陸側のプレートが跳ね上がり、地震が発生する。その際、津波が発生する場合がある。

■避難所・一時避難場所一覧

南海トラフ浸水深〔()内の数字は3連動地震場合〕

番号	種別	名 称	最大予想浸水深(m)	第1波到達予想時間(分)	避難先安全レベル
1	○	三尾高台1	浸水しない		☆☆☆
2	○	三尾高台2	浸水しない		☆☆☆
3	○	三尾高台3	浸水しない		☆☆☆
4	○	三尾高台4	浸水しない		☆☆☆
5	○	三尾高台5	浸水しない		☆☆☆
6	○	三尾高台6	浸水しない		☆☆☆
7	○	三尾高台7	浸水しない		☆☆☆
8	○	三尾高台8	浸水しない		☆☆☆
9	○	三尾高台9	浸水しない		☆☆☆
10	○	三尾高台10	浸水しない		☆☆☆
11	○	三尾高台11	浸水しない		☆☆☆
12	○	三尾高台12	浸水しない		☆☆☆
13	○	三尾高台13	浸水しない		☆☆☆
14	○	三尾高台14	浸水しない		☆☆☆
15	○	三尾高台15	浸水しない		☆☆☆
16	○	三尾高台16	浸水しない		☆☆☆
17	□	旧三尾小学校	浸水しない		☆☆☆
18	○	本の脇高台1	浸水しない		☆☆☆
19	○	本の脇高台2	浸水しない		☆☆☆
20	○	本の脇高台3	浸水しない		☆☆☆
21	○	谷口川砂防ダム周辺	浸水しない		☆☆☆
22	△	畜産センター	浸水しない		
23	○	下池付近の高台	浸水しない		☆☆☆
24	○	今池周辺	浸水しない		☆☆☆
25	△	中央公民館	1.05	32	
26	□	和田小学校	1.70	32	☆☆
27	○	美浜町役場	1.50	31	☆☆
28	□	地域福祉センター	1.15	32	☆☆
29	○	入山高台1	浸水しない		☆☆☆
30	○	入山高台2	浸水しない		☆☆☆
31	○	入山高台3	浸水しない		☆☆☆
32	○	入山高台4	浸水しない		☆☆☆
33	○	入山高台5	浸水しない		☆☆☆
34	○	入山高台6	浸水しない		☆☆☆
35	○	入山高台7	浸水しない		☆☆☆
36	○	三宝寺周辺	浸水しない		☆☆☆
37	○	入山高台8	浸水しない		☆☆☆
38	△	入山分館	0.65	70	
39	○	ひまわりこども園	2.00	30	☆☆
40	□	松洋中学校	2.50	28	☆☆
41	□	松原小学校	2.95	30	☆☆
42	□	松原地区公民館	2.75	30	☆☆
43	○	松原高台	浸水しない		☆☆☆
44	○	浜ノ瀬避難タワー	3.95	25	☆☆
45	○	田井畑コミュニティセンター	5.65 (1.20)	26 (29)	☆
46	○	WAY美浜店	5.10 (0.70)	27 (30)	☆
47	○	ホテルグリーンヒル美浜	0.90	40	☆☆
48	○	カンフォータブルー番館	1.00	40	☆☆

*種別 (○)一時避難場所
(△)避難所
(□)一時避難場所 兼 避難所

南海トラフ浸水深〔()内の数字は3連動地震場合〕

番号	種別	名 称	最大予想浸水深(m)	第1波到達予想時間(分)	避難先安全レベル
49	○	オークワロマンシティ	1.35	35	☆☆
50	○	Joshin御坊店	3.40	31	☆☆
51	○	御坊市中央公民館	3.95	31	☆☆
52	○	御坊市福祉センター	3.60	31	☆☆
53	○	御坊小学校	4.10	32	☆☆
54	○	御坊中学校	0.80	37	☆☆
55	○	日高高等学校	1.80	36	☆☆
56	○	紀央館高等学校	浸水しない		☆☆☆
57	○	NTT御坊別館ビル	4.30 (0.30)	31 (95)	☆
58	○	御坊商工会議所	3.60	31	☆☆

その他の施設	最大予想浸水深(m)	第1波到達予想時間(分)
三尾分館	4.50	27
風速荘	8.90 (2.55)	20 (27)
本の脇集会場	0.05	32
西中集会場	1.80	35
東中集会場	2.55	35
東集会場	1.40	31
吉原西集会場	1.75	30
吉原東集会場	4.05	31
さざなみ荘	5.15	24
美浜町体育センター	2.60	28
浜ノ瀬住民会館	5.30	22
上田井集会場	3.05	33

役所 消防署 警察署			
美浜町役場	(TEL)22-4123	三尾駐在所	(TEL)62-2110
日高広域消防本部	(TEL)63-1119	和田駐在所	(TEL)23-1420
御坊警察署	(TEL)23-0110		
医療機関			
休日急患診療室(日高病院内)	(TEL)22-1111	救急医療情報センター	(TEL)073-426-1199
ライフライン			
NTT(電話故障)	(TEL)113	役場 上下水道課	(TEL)23-4954
関電田辺営業所	(TEL)0800-777-8073		

●緊急時の連絡先

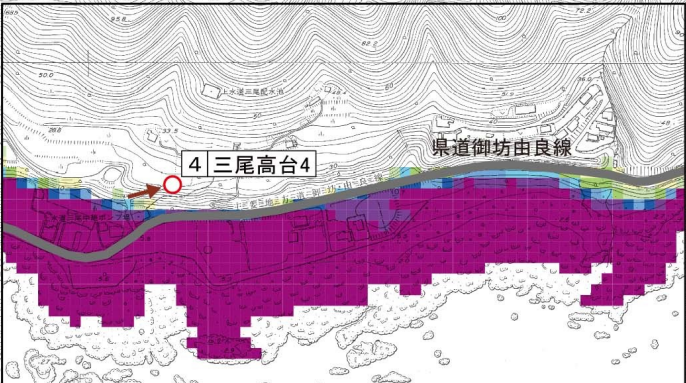
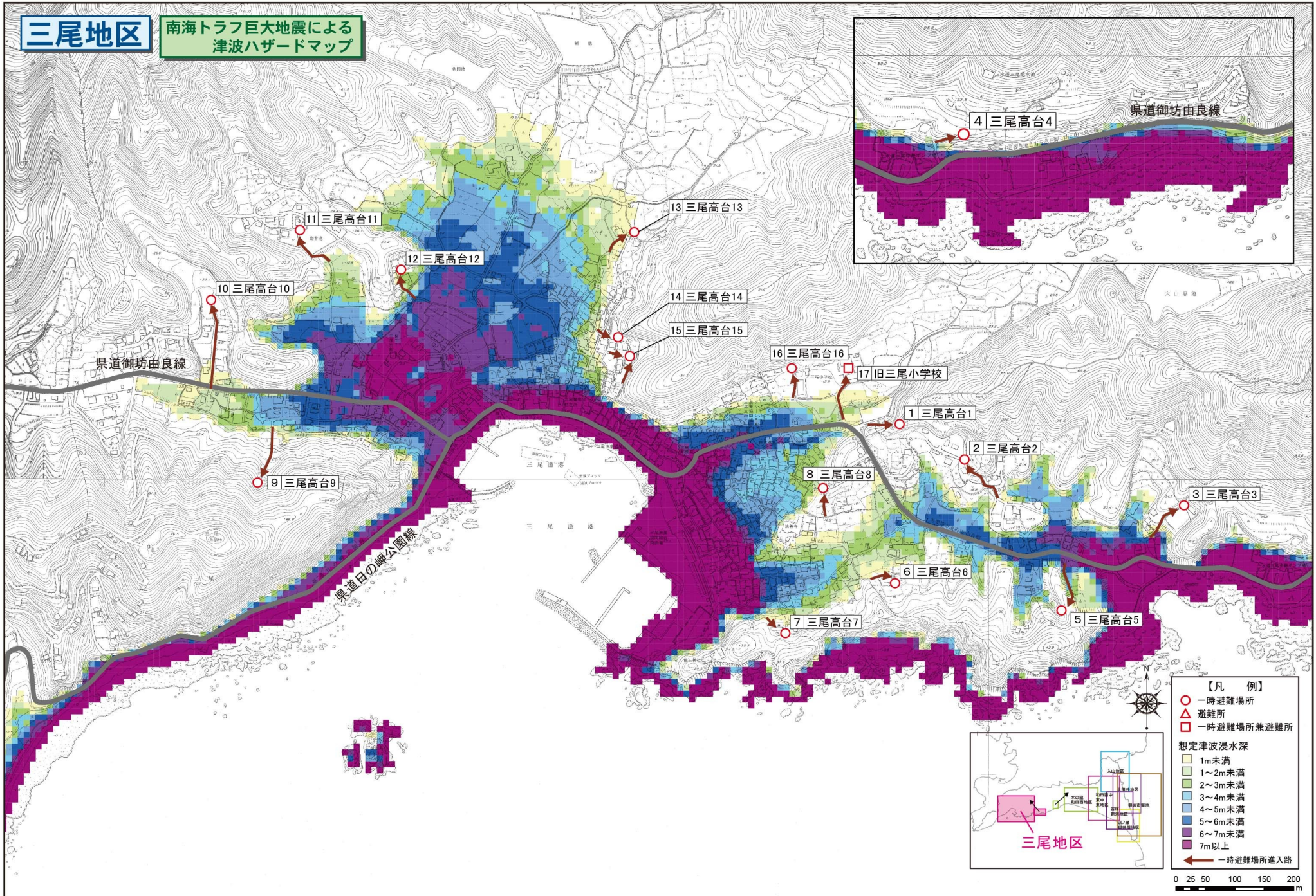
名 前	住 所	電話番号

●気象情報など

気象庁	国土交通省 防災情報提供センター
http://www.jma.go.jp/jma/index.html	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
防災わかやま	
http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html	

三尾地区

南海トラフ巨大地震による
津波ハザードマップ

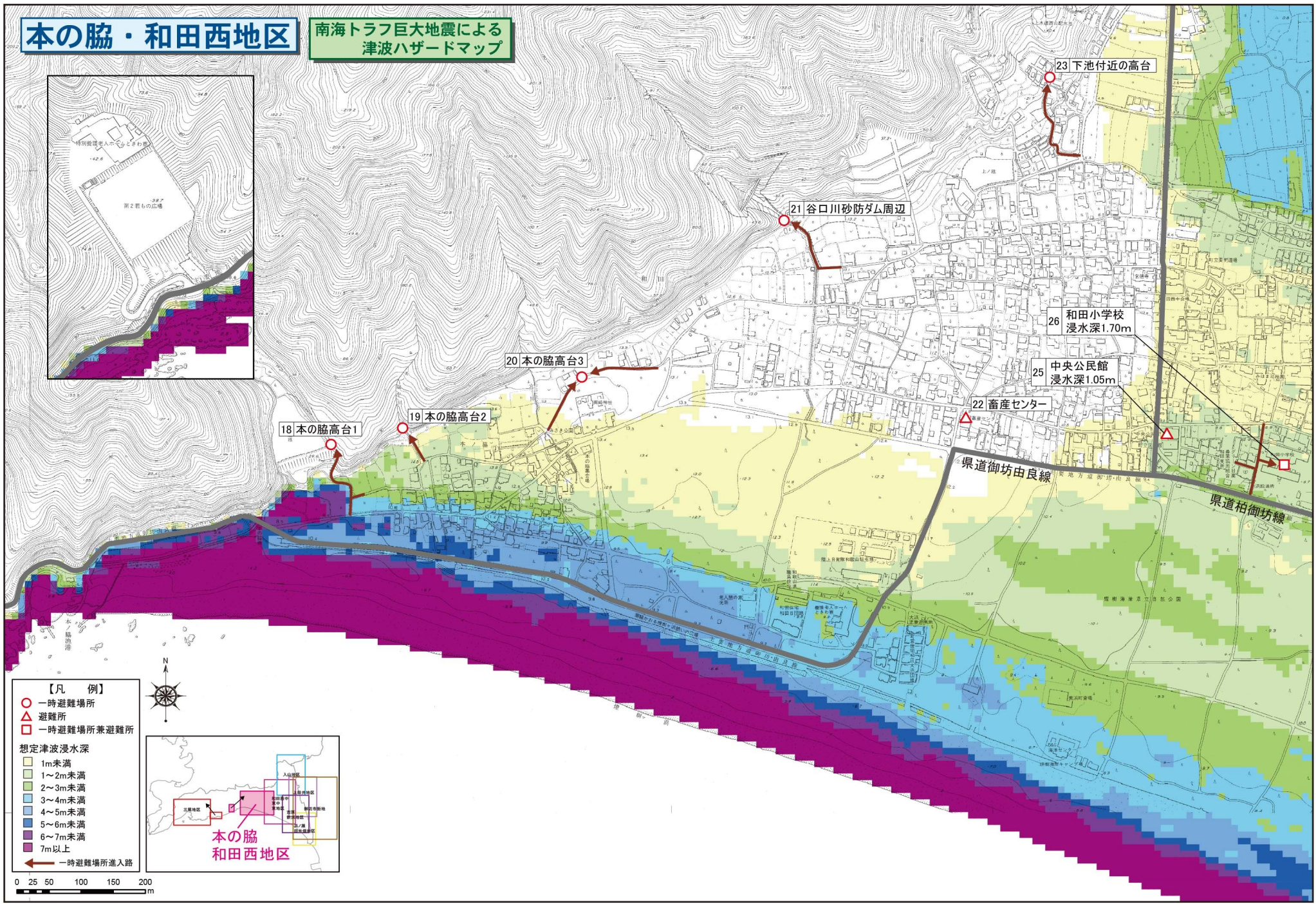
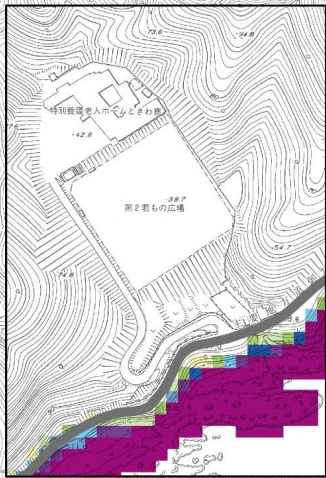


- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所
- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入路

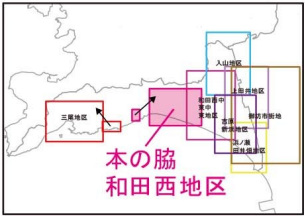


本の脇・和田西地区

南海トラフ巨大地震による津波ハザードマップ

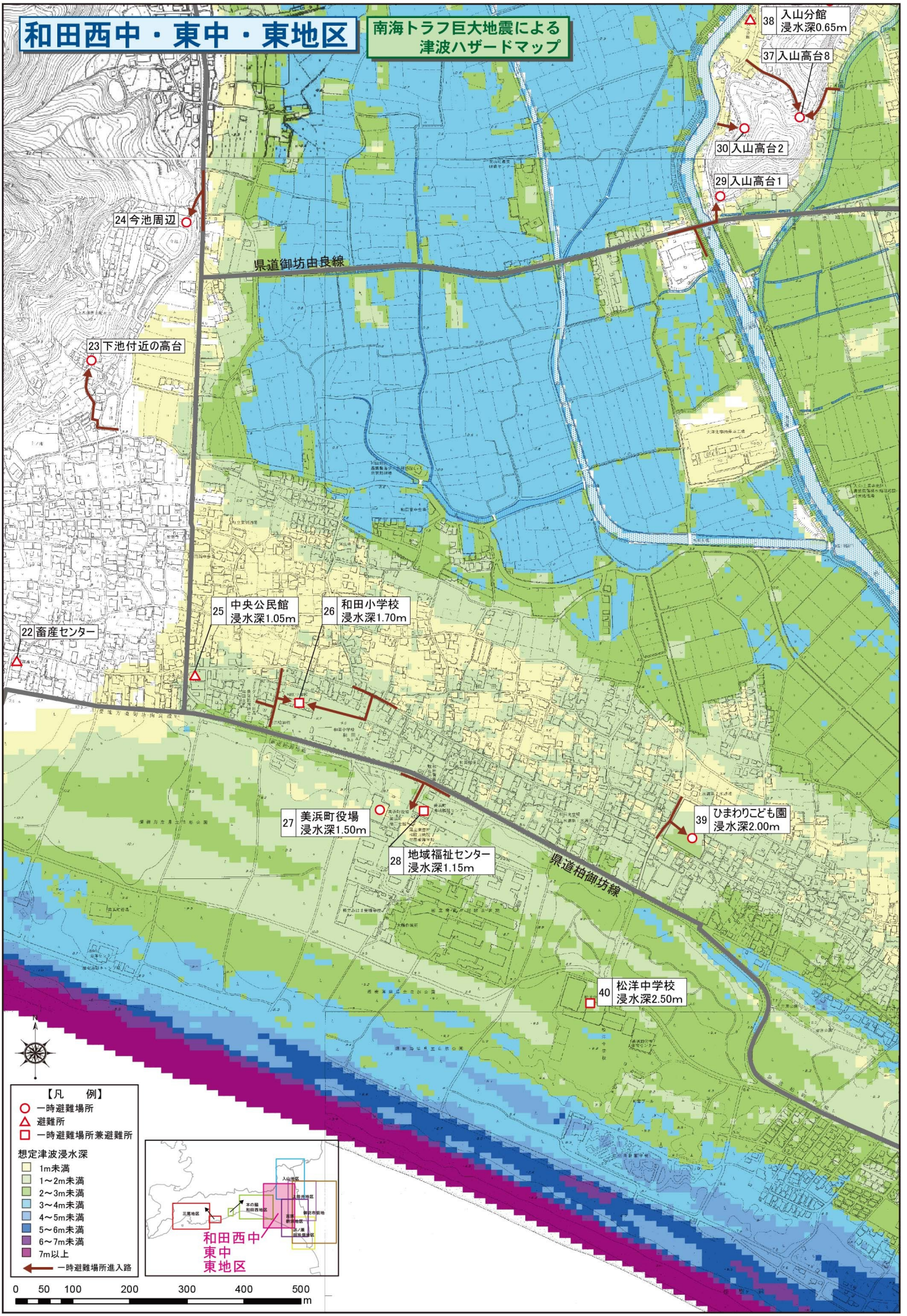


- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所
- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1～2m未満
 - 2～3m未満
 - 3～4m未満
 - 4～5m未満
 - 5～6m未満
 - 6～7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入路



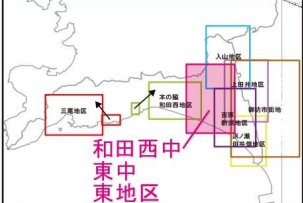
和田西中・東中・東地区

南海トラフ巨大地震による津波ハザードマップ



- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所

- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入口



24 今池周辺

23 下池付近の高台

22 畜産センター

25 中央公民館
浸水深1.05m

26 和田小学校
浸水深1.70m

27 美浜町役場
浸水深1.50m

28 地域福祉センター
浸水深1.15m

40 松洋中学校
浸水深2.50m

39 ひまわりこども園
浸水深2.00m

30 入山高台2

29 入山高台1

37 入山高台8

38 入山分館
浸水深0.65m

県道御坊由良線

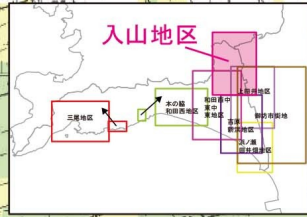
県道柏御坊線



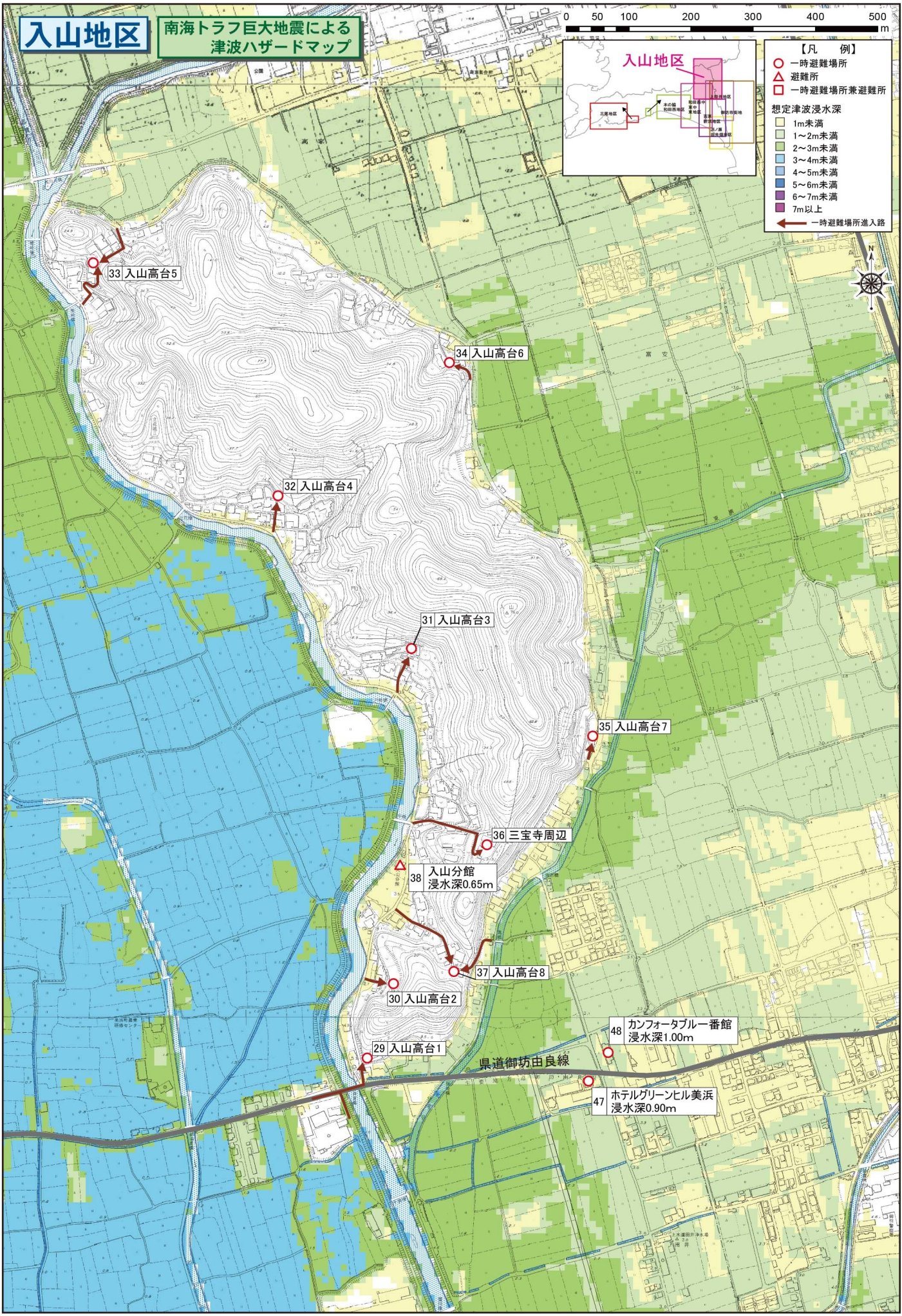
入山地区

南海トラフ巨大地震による 津波ハザードマップ

0 50 100 200 300 400 500 m

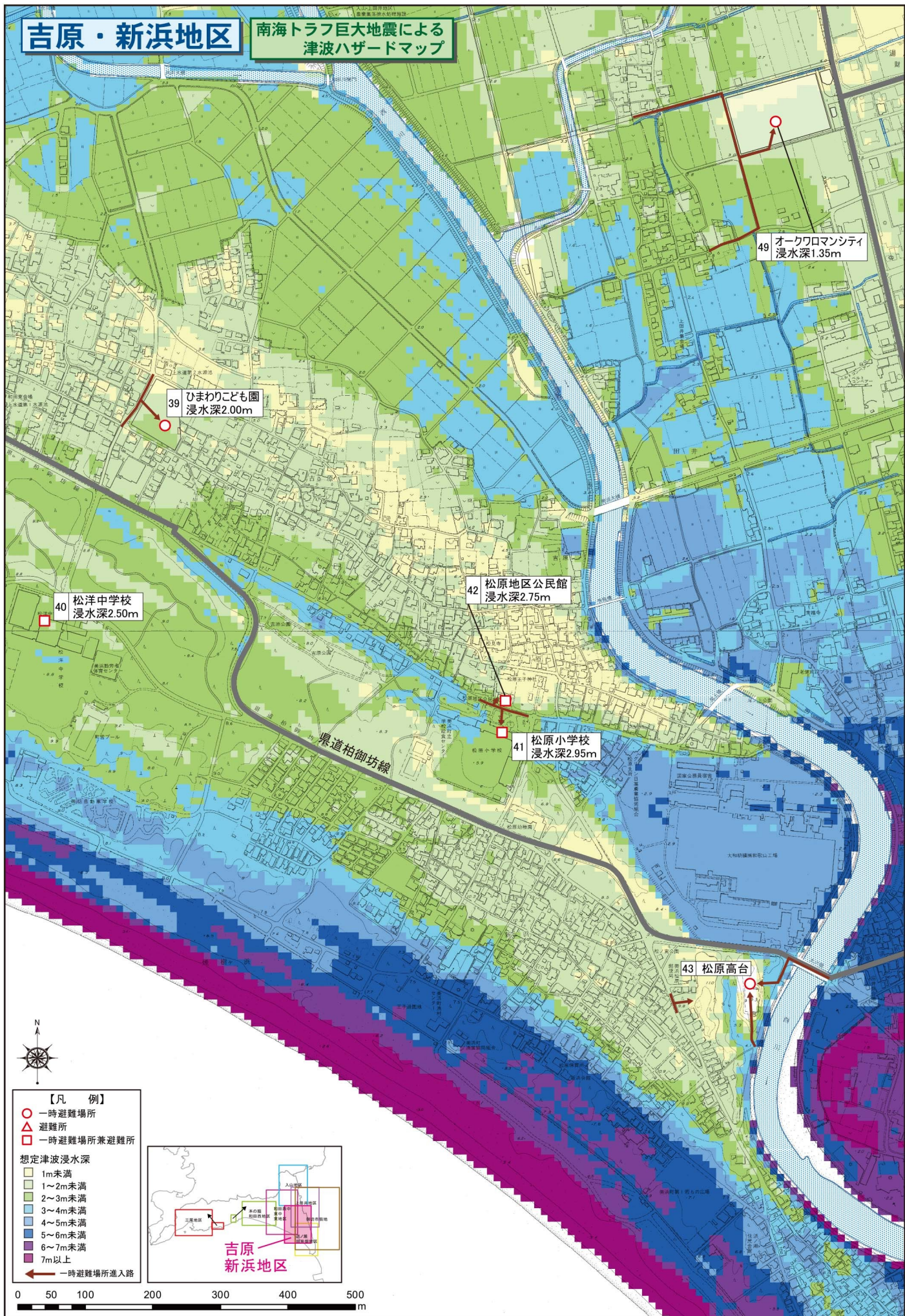


- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所
- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入路



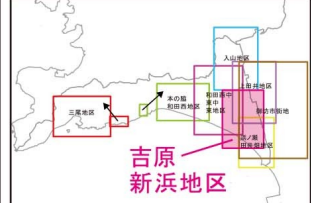
吉原・新浜地区

南海トラフ巨大地震による 津波ハザードマップ



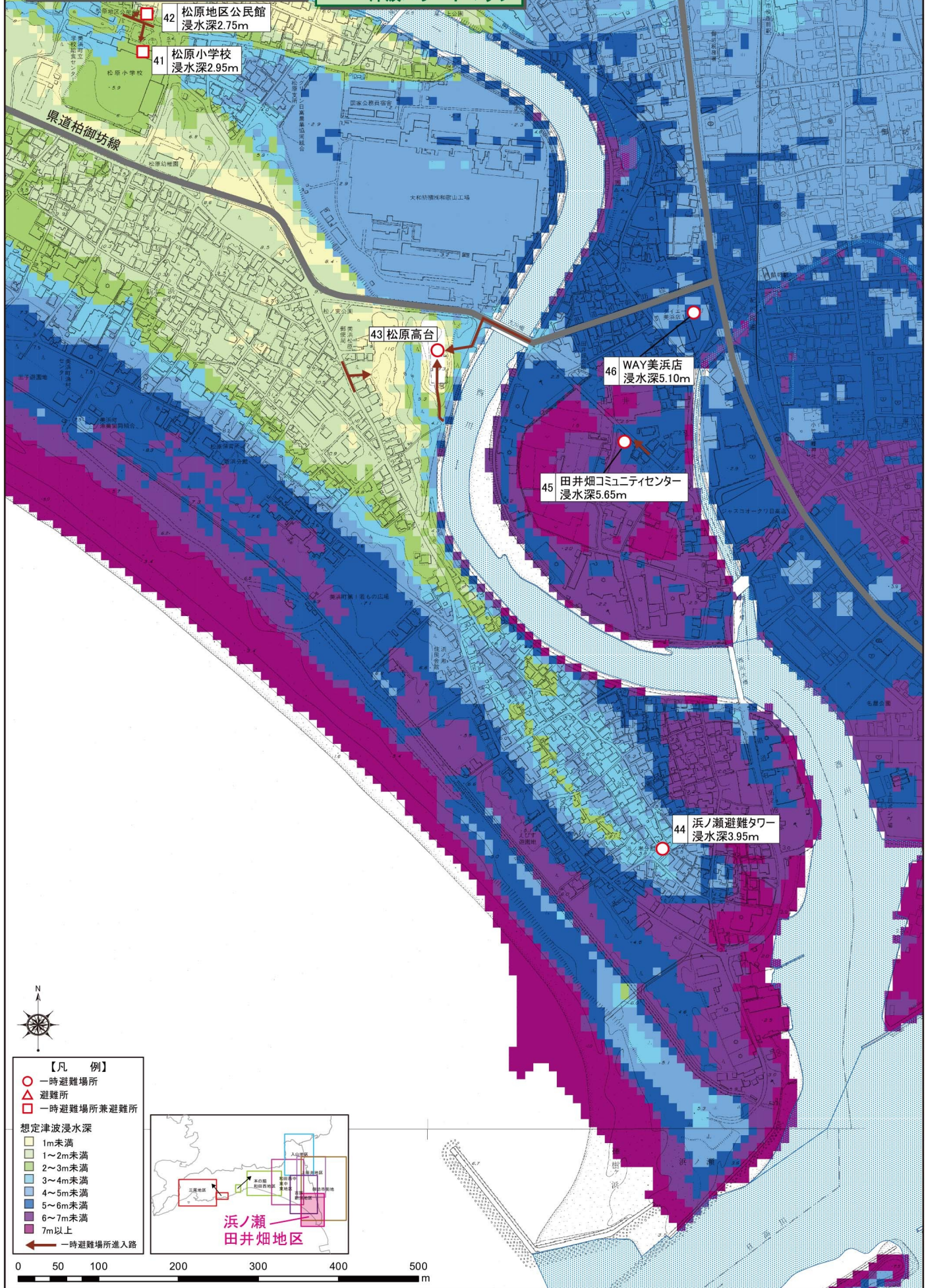
- 【凡 例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所

- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入口



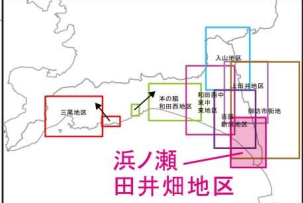
浜ノ瀬・田井畑地区

南海トラフ巨大地震による津波ハザードマップ



- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所

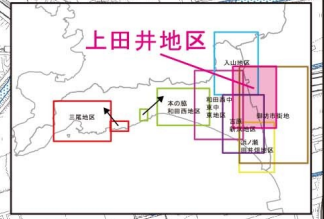
- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上
- ← 一時避難場所進入口



上田井地区

南海トラフ巨大地震による 津波ハザードマップ

0 50 100 200 300 400 500 m



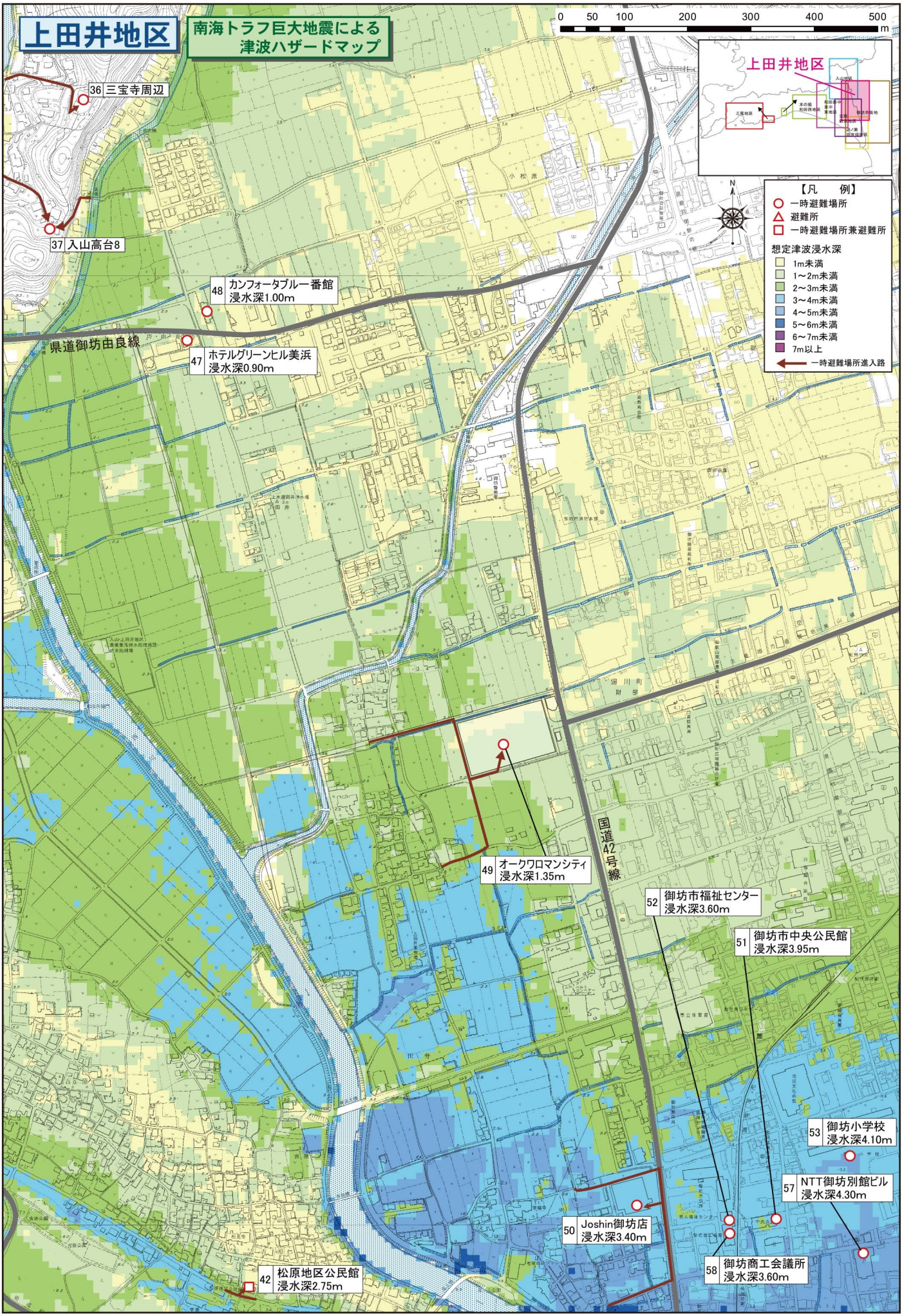
【凡例】

- 一時避難場所
- △ 避難所
- 一時避難場所兼避難所

想定津波浸水深

- 1m未満
- 1~2m未満
- 2~3m未満
- 3~4m未満
- 4~5m未満
- 5~6m未満
- 6~7m未満
- 7m以上

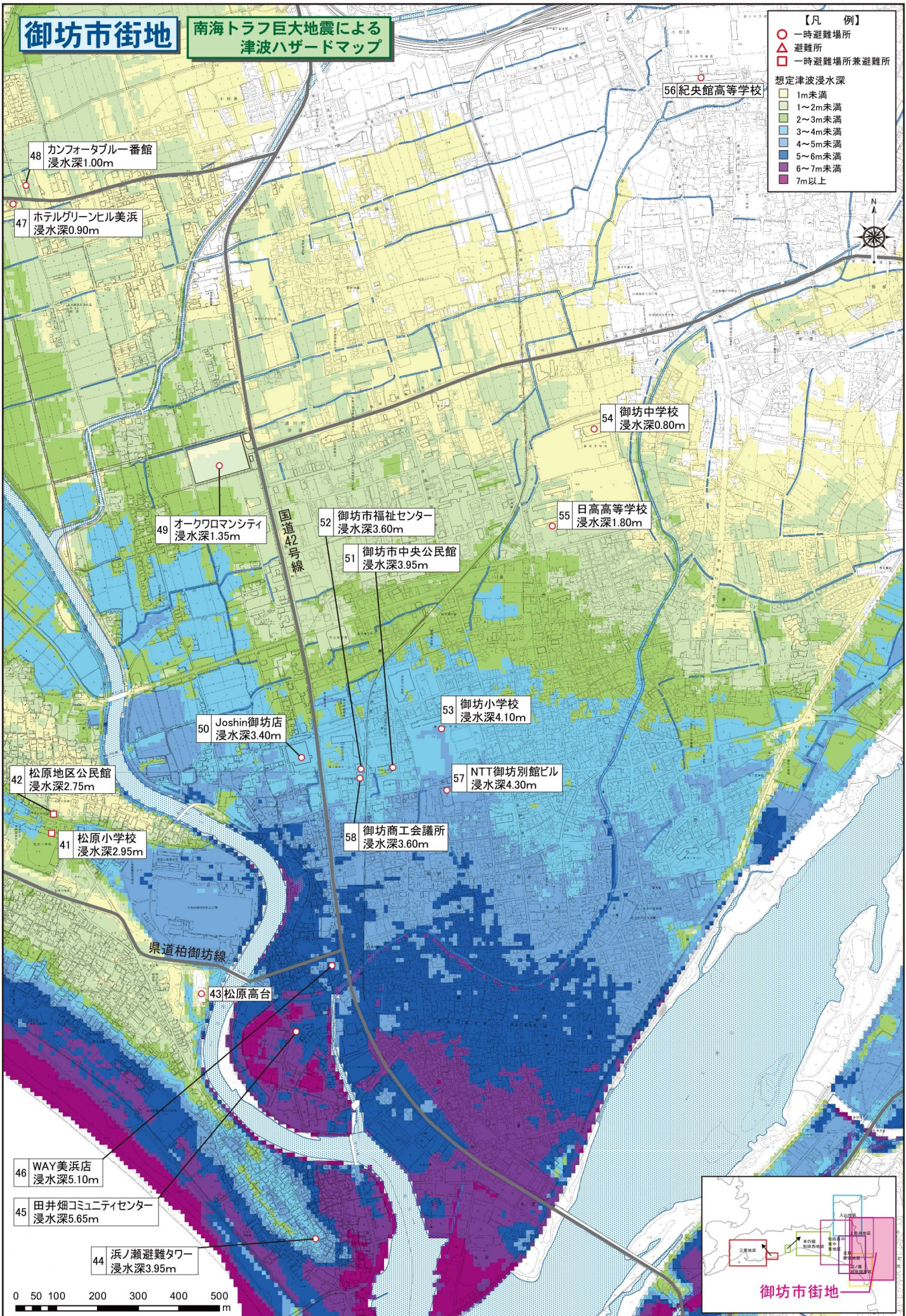
← 一時避難場所進入路



御坊市街地

南海トラフ巨大地震による 津波ハザードマップ

- 【凡例】
- 一時避難場所
 - △ 避難所
 - 一時避難場所兼避難所
- 想定津波浸水深
- 1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~3m未満
 - 3~4m未満
 - 4~5m未満
 - 5~6m未満
 - 6~7m未満
 - 7m以上



48 カンフォーター番館
浸水深1.00m

47 ホテルグリーンヒル美浜
浸水深0.90m

49 オークワロマンシティ
浸水深1.35m

52 御坊市福祉センター
浸水深3.60m

54 御坊中学校
浸水深0.80m

55 日高高等学校
浸水深1.80m

51 御坊市中央公民館
浸水深3.95m

50 Joshin御坊店
浸水深3.40m

53 御坊小学校
浸水深4.10m

42 松原地区公民館
浸水深2.75m

57 NTT御坊別館ビル
浸水深4.30m

41 松原小学校
浸水深2.95m

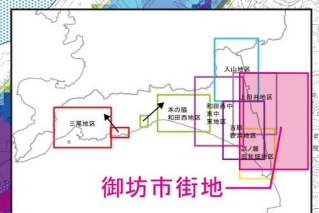
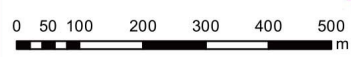
58 御坊商工会議所
浸水深3.60m

43 松原高台

46 WAY美浜店
浸水深5.10m

45 田井畑コミュニティセンター
浸水深5.65m

44 浜ノ瀬避難タワー
浸水深3.95m



■避難所

<p>17</p> 	<p>22</p> 	<p>25</p> 
<p>旧三尾小学校 美浜町三尾778</p>	<p>畜産センター 美浜町和田 1138-26</p>	<p>中央公民館 美浜町和田 1138-177</p>
<p>26</p> 	<p>28</p> 	<p>38</p> 
<p>和田小学校 美浜町和田 1138-176</p>	<p>地域福祉センター 美浜町和田 1138-326</p>	<p>入山分館 美浜町和田2977-1</p>
<p>40</p> 	<p>41</p> 	<p>42</p> 
<p>松洋中学校 美浜町吉原958</p>	<p>松原小学校 美浜町吉原774-5</p>	<p>松原地区公民館 美浜町吉原771-4</p>

※各写真左上の数字は避難所・一時避難場所一覧の番号

津波避難
3原則



- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ

いざという時!
忘れないでください



- 津波は第1波が最も大きいとは限らない（第1波の情報で油断しない）
- 津波は繰り返し襲ってくる
- 津波は引き波から来るとは限らない
- 30センチの津波でもまきこまれる恐れがある
- 長い時間揺れがづく場合は、弱い地震でも海溝型地震を連想し、すぐ逃げる！（海溝型地震では揺れが長くつくこともあり、東日本大震災では、地域によっては3分以上も揺れがつづきました）
- 地震を感じなくとも、津波警報等が出た場合は、すぐ逃げる！
- あらかじめ一時避難場所を決めておき、記載した避難カードを携帯しましょう
- ラジオ・テレビ・携帯端末から正確な情報をできるだけ早く入手しましょう

安否の確認などの連絡に **NTT 災害用伝言ダイヤル171** ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

家族間や知人間などの連絡に活用できます。

伝言の録音方法 **171→1→**
ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

(000) 000-0000

災害地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の再生方法 **171→2→**
ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

(000) 000-0000

災害地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

■日ごろからの備え

●家族で防災について、話し合おう

1 家族一人ひとりの役割分担を決める

- 日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めておく。
- 家族に高齢者や障害者、乳幼児などがある場合には、保護担当者を決める。



2 一時避難場所、避難経路を確認する

- 地域の一時避難場所を確認する。家族が離ればなれになったときの集合場所も決めておく。
- 休日などを利用し、家族で避難経路などの下見をしておく。



3 家族が離ればなれになったときの連絡方法を確認する

- 災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認する。
- 遠方に住む親せきや知人を中継地点にして連絡をとる方法もある。



4 危険個所をチェックする

- 家の内側に危険なところがないかチェックする。
- 危ない場所があったら、修理や補強について検討する。



5 非常持出品をチェックする

- 必要な物が揃っているかチェックする。
- 機器の保存状態や食べ物の賞味期限のチェックも忘れずに。



6 防災用具をチェックする

- 消火器や救急箱の置き場や製造年月日などを確認する。
- 消火器の使い方を覚えておく。
- 応急手当ての方法を覚えておく。



●防災わかやまメール配信サービス

県内の気象情報や地震、津波の警報・注意報、避難勧告、台風や雨量、ダム放流など、さまざまな情報をパソコン、携帯電話などに電子メールでお知らせします。

事前にメールアドレスの登録が必要です。

下記の配信サービス登録用QRコードを読み取り、空メールを送って設定すると登録されます。

NTTドコモ、au、softbankなどの携帯電話に対応しています。ぜひ、ご利用ください。



防災わかやまメール 配信サービス登録用QRコード

[regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp]
上記アドレスにそのままメールを送信してください。
(件名・本文は不要)

●避難カードの活用

家族での話し合いに、**避難カード**を活用しましょう。

避難カード		九 避難場所
しゅめい	氏名	緊急避難先
住所	住所	地震・津波 避難所
生年月日	性別 家族	緊急避難先
緊急連絡先 ①	年 月 日 人	風水害 避難所
緊急連絡先 ②		
緊急連絡先 ③		

県では家族で一時避難場所が把握できるよう「避難カード」を作成し、市町村を通じて配布しています。